

横地分類(改訂大島分類)

「移動機能」、「知的発達」、「特記事項」の3項目で分類し、以下のように表記する。

例：A1-C, B2, D2-U, B5-B, C4-D

〈知的発達〉						
E6	E5	E4	E3	E2	E1	簡単な計算可
D6	D5	D4	D3	D2	D1	簡単な文字・数字の理解可
C6	C5	C4	C3	C2	C1	簡単な色・数の理解可
B6	B5	B4	B3	B2	B1	簡単な言語理解可
A6	A5	A4	A3	A2	A1	言語理解不可
戸 室 室 座 寝 寝 外 内 内 位 返 返 歩 内 内 保 返 返 行 歩 移 持 可 不 可 可 行 動 可 可						
〈移動機能〉						
〈特記事項〉 C:有意な眼瞼運動なし B:盲 D:難聴 U:両上肢機能全廃 TLS:完全閉じ込め状態						



あさひの 日常生活紹介 加藤 智恵

回のおおぞら通信をご参照ください。とりあえず、健常者がこちよく思う音を聞いてもらい、わずかな表出を受け取るしかないと思います。これらは大変な作業ですが、質の高い生活を送るためには不可欠なことです。生きがい活動だけでなく、良い一般的生活活動を提供することも私たちの重要な職務だと思っています。

あさひは現在A B C D Eの5つのグループに分かれて日中生活を送り、個々にあった活動を行っています。Bグループは、横地分類D、Eの利用者が多く在籍しています。Aさん(横地分類E2)は、自分の考えや気持ちを、声や視線や表情、身体の動きで表現し伝えます。文字板もその手段として使っています。

また、Aさんは、身体の動きをコントロールするのが難しく、手足を使って操作するのは容易ではありません。それでも、自分の身体を使って何かを作りたいという気持ちが強くと、活動は主にものを作ることを行っています。Aさ



「エプロン」という単語を職員に伝えようとした時の事です。文字板で聞いていくと、「え・ん・ふ」の字を指し、伝わらないとわかると、ギョツと身体ごと視線を棚に向け、強い眼差しでジーツと見つめました。そこには、食事に使うエプロンが入っており、「あつ！エプロンのこと？」と聞くと、ヒヤーツと嬉しそうに声を出し勢いよく腕をブンツと振り上げました。自分の思いがなかなか伝わらない時は、伝達方法を工夫してコミュニケーションをとり、伝わりと大きな喜びを感じています。

前回、「お母さんに何かを作りたい。」と、フェルトを袋状に合わせてウォールポケットを作りました。「どうやって作るのか？」と聞くと、文字板を使い『み・ん』と指しました。「もしかしてミシン？」と言うと、それそれ！と言わんばかりに笑いながら腕を振り上げました。以前、押すと電源が入ったり切れた



んの動きに合わせた方法や道具を工夫し、なるべく自分の力で作り上げていけるよう考えて行ってきました。「こういう物が作れる」「こうしたらできる」という経験や自信と、完成する度に得られる喜びや満足感から、製作する事が楽しみとなっていました。他の利用者が作っている物を見て真似て作る事が多かった製作も、今では自分で作りたものを考えて伝え、完成に向けて意欲的に取り組んでいます。

りするスイッチを使ってミシンを動かした事があり、その方法で行えば作れると考えたようです。もつとAさんができる方法があるのではないかと考え、大型の穴あけパンチでフェルトに穴を開け、その穴にひもを通して縫い合わせたらどうかと提案してみました。すると、表情がパツと明るくなり、身体にグーツと力を入れて腕を大きく上げました。職員が穴あけパンチをAさんの足が伸びてくるあたりで構えて持つと、足の動きに気持ちを集ませ、曲げた足をグイツとパンチめがけて伸ばして押します。穴があいているか心配そうに覗き、穴がしっかりと開いていると、足をバタバタと動かしてとても嬉しそうに笑っていました。次に、チューブに毛糸をつけた物を針と糸の代わりにして、穴に通し縫うようにして閉じていきます。チューブをギョツと握り、真剣な表情で穴を見つめ、狙って懸命に腕を動かします。なかなか入らず職員が手を添えてやっとなると、フツと手の力を緩めてチューブを持ち直し、またギョツと握って今度は自分の方へ引き寄せるように力を入れ引つ張ります。1つ穴が開く度、1つひもが通る度に、